行政視察報告書　　議会運営委員会　　　2016年8月3日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 三重県鳥羽市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 議会図書館の充実について |
| 1. 調査内容をどう評価するか

・地方自治法上必置の施設でありながら、活用されていない例（当市議会においても同様）が多くある。議会基本条例上も「充実に努める」としている事から有用なテーマである。1. 今後の課題

・ネットで検索した方が早いといった利便性が、図書館不要論につながっているのは議会も同様であるが、ネット上の検索が必ずしも正確な情報とは限らない（検索上位項目が正論とは限らない）・ネットの情報があてにならないと感じる場合は、書籍の購入のために静岡市の江崎書店（ここが県内で一番充実しており、検索システムもある）図書館データベースで図書を検索する。こうしたシステムが議会図書室で行われればベストである。・司書の配置。選書のプロである司書が配置されている事が絶対に必要だ（市議会段階ではほとんど実行されていないが）1. 本市に反映できると思われる点

・公共図書館との連携の実施は可能では。鳥羽市は本市より小さい議会であり、当然司書はおかれていないが、議会事務局を通じ、県立図書館、鳥羽市立図書館との連携システムの構築（2013年8月）により、連携で司書を通じての議員からのレファレンスが行われている。（県内に2冊しかない採石法図書の発見などの実績）・調査、研究のための民間データベースの活用。鳥羽市は時事通信社（iJAMP、年間36万円）を活用していたが、必ずしもそこに限る事はない。・政策立案支援サービスの実行。図書館が行うサービスであるが、議員と市職員からのレファレンスに応える無料サービス（大阪府立図書館で行われいる）ただ、同じ人物に繰り返し利用されているのが実態のようで、広がりはまだ不足しているようだ。1. その他

・官報、新聞記事などのPDFファイル保管の実施。 |